

No. 1123

夢の球宴

— オールスター第2戦 —

オールスター第2戦は7月20日満員のファンで埋まった中日球場で行なわれました。

有藤（ロッテ）のホームランで1点リードされたオールセントラル。6回の攻撃。バッター藤田（阪神）ピッチャー神戸（近鉄）。藤田の打球は逆風をついてライトスタンドに飛び込む同点ホームラン。試合を振り出しに戻しました。

7回オールパシフィックの攻撃一塁にランナーをおいてバッターマルカーノ（阪急）ピッチャー鈴木（孝）（中日）。マルカーノは三遊間を抜くヒットでランナー一塁二塁。田淵（阪神）が若い鈴木をマウンドで激励。

オールパシフィック絶好のチャンスに代打藤原（南海）。藤原のセンター前ヒットで二人生還。3対1と再びリードしました。その裏オールセントラルの攻撃。衣笠（広島）は高橋（直）（日本ハム）から内野安打。更に井上（中日）もライト前にヒットしかし衣笠の2塁オーバーランニングでタッチアウト。チャンスをつぶしたかに見えたものの代打若松（ヤクルト）が左中間を深々と破る3塁打で1点差に追いあげました。ここで金田監督はピッチャーをロッテの切り札村田にスイッチ。

迎えるバッターは代打松原（大洋）。

2-2から5球目フルスイングした打球はレフトスタンドに入る逆転2ランホームラン。

人気のセリーグ実力のパリーグといわれたこれまでのオールスターを打ち破りセントラルが2連勝。

野球ファンを喜ばせました。

沖縄海洋博開幕

沖縄の本土復帰記念事業として計画されてから4年、人類と海の未来を考える沖縄国際海洋博覧会の幕はきっておとされた。

7月19日、午後2時コバルトブルーの海辺ポートサイドシアターで華々しく挙行された開会式。

開幕に先立ち、沖縄海洋博覧会名誉総裁、皇太子殿下と美智子妃殿下が海洋文化館と沖縄館を御訪問。

会場に陳列された古いくり舟や海にちなんだ展示物を興呼深げに御覧になりました。

7月20日午前9時。いよいよ海洋博はスタート。現地本部町の最高齢者古堅マズルさんもテープカット。

開場を待ちかねていた人々がそれぞれ目あての各パビリオンに向いました。海洋博のシンボル未来海上都市アクアポリスに通じる橋には長い人の行列ができ人気を独占。100万平方メートルにも及ぶ広い会場を結ぶKRTも運行開始。初日だけでおよそ3万5千人が入場しました。

まだまだ未知なる世界の広がる海。その海の神秘の中に海洋文化をさぐり豊かな資源を求め人類の未来をみつめる沖縄国際海洋博覧会は、来年の1月18日まで183日間にわたって開かれる。